

事業所における自己評価結果公表(児童発達支援・放課後等デイサービス)

公表：平成30年 9月 8日

事業所名：こどもたちの窓 Solana(ソラナ:ひだまり)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・クールダウンする必要がある時は畳の部屋や医務室などを利用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・配置数の他、障がいの特性に見合った職員配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・玄関の段差が高い、台を置いて工夫している。2階へは階段のみ。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・毎日、掃除をし、清潔さを保っている。活動に合わせて環境を変えている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・月に1度ミーティングを開き、より良いサービスを目指している。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者アンケートを実施して「保護者等向け評価表」を作成。
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・保護者に配布している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・保護者アンケートを実施して評価結果を業務改善に繋げている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・外部研修に参加し、支援に繋げている。研修を受けた指導員は他の指導員と情報を共有している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・こどもの日々の様子や保護者のニーズ・課題を分析して計画書を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	12	児童発達支援・放課後等デイサービス計画には、児童発達支援・放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援・放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○			・こども一人ひとりに見合った支援を考え設定している。
	13	児童発達支援・放課後等デイサービスに沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・活動プログラムの内容は毎月のミーティングで意見を出し合い決定している。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・活動プログラムが固定化しないよう、またこどもたちが様々な経験を詰めるよう、長期休みにはイベントを取り入れている。 ・イベント情報をまめにチェックしている。	

	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・子どもたちの人数や年齢、特性等に応じて、プログラムの内容を考え提供している。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・下校の時間や年齢層に応じた対応を心掛けている。実際スペースや職員体制等で個別が難しい面もある。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・送迎表や1日の流れを書いたボードを基に確認している。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後、その日の振り返りを行い、至らなかった点を改善するなど、意見を出し合いより良い支援へ繋げられるよう努めている。
	20	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々の記録を付けることで支援計画のモニタリングに活かしている。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年ごとのモニタリングで成長過程に合わせて支援計画の見直しを行っている。
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・書道をメインに様々なカリキュラムを取り入れている。
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・内容をよく把握しているスタッフが参加している。
	24	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携して支援を行っているか		○		
	25	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・常に連絡を取り合っている。 ・気になったことがあればこちらから積極的に聞くようにしている。
	26	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・医師の指示に基づき医療行為を看護師が実施している。
	27	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解に努めているか	○			・利用を開始する際には、保護者や関係機関から情報収集している。
	28	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解に努めているか	○			・利用を開始する際には、保護者や関係機関から情報収集している。
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・学校を卒業した子どもはまだいないがそのような場合、要請があれば保護者同意の基、情報提供を行う。

	30	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・研修は受けているが、連携や支援における助言をいただくまでの関係性は築けていない。
	31	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・地域のイベント等に参加し、交流を深めている。
	32	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		・日程が合えば参加している。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		・連絡帳や送迎時、電話などでも連絡を取り合っている。
	34	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・会話の中での助言は行っているが、「ペアレント・トレーニング」は行っていない。
保護者への説明責任等	35	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		・利用を開始する際には、丁寧に説明をしている。
	36	児童発達支援・放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援・放課後等デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援・放課後等デイサービス」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか		○		・同意を得てからサインをもらっている。
	37	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		・送迎時や電話、メール、面談などで助言を行っている。
	38	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・保護者参加がたのイベントを開催したが現状、集まるのは難しかった。 ・グループラインを作るなどして保護者同士、連携を取りやすいように努めている。
	39	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		・苦情相談窓口を設置し責任者を置いて対応している。苦情があった際には迅速に対応しすぐに解決できるようにしている。
	40	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		・毎月、行事カレンダーを配布している。緊急の場合はお知らせの手紙を渡している。
	41	個人情報に十分注意しているか		○		
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		・保護者には連絡帳にて、その日の内容や様子を伝えている。 ・子どもにはイラストを付け視覚的に分かりやすくしている。
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・イベントの招待等はしていないが、区民祭り等の地域行事に参加し交流をはかっている。

非常時等の対応	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・マニュアルは作成できていないがミーティングで話し合い対応の仕方を決めた。
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・半年に1回、避難訓練を実施し記録している。
	46	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	○			・利用開始前に確認している。
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・言葉の投げ掛け方によっては精神的な虐待に繋がることもあるため言葉掛けについては十分に注意している。
	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		・現在、児童発達支援・放課後等デイサービスでは身体拘束は行っていない。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・医師の指示や保護者からの情報に基づいて食物アレルギーのある子どもについては配慮して対応している。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・「ヒヤリハット」は財産であり、そこから学んだことをより良い支援に繋げられるよう共有している。